

その他の施設

22 寺井堰(寺井頭首工)

寺井堰は、浄土寺を建立した重源(1121～1206年)によって大部荘(現在の小野市葉多町ほか5町)へのかんがいを目的に築造されたと言われ、東条川の最下流に位置しています。かつては加古川本流に堰を造り、そこで取水した水をいったん東条川に入れ、再びこの堰で取水するという方法が採られていました。現在、用水が不足した時には、安政池に蓄えられた鴨川ダムの水を東条川に入れることで、安定的に用水が確保できるようになっています。



23 昭和池廃線水路

昭和池廃線水路は、昭和池の水を千鳥川以南の農地に送る水路として、1933年(昭和8年)に築造されました。千鳥川が流れる幅690mの谷ではサイフォンが設置され水が送られていました。国営東条川農業水利事業では、千鳥川以南の農地には新たに築造する鴨川ダムからの水を送ることとする水利転換が行われました。この結果、1971年(昭和46年)以降、この水路は使われなくなり、現在はどこでどこで名残を留めています。

